

相談室だより 4月号

(No. 118号)

平成19年4月1日発行

熊取療育園
木目言炎室
大阪府泉南郡熊取町朝代東4丁目22-12
TEL: 072-453-5917
FAX: 072-452-9151
e-mail: kumatori_room@tea.ocn.ne.jp

グループホーム ケアホーム

「障害はあっても大人だし、自立したい」とか、「お父さんもお母さんも年をとってきたし、この先二人とも亡くなったらどうしよう」というような相談があります。みなさんも同じことを思ったことはありませんか？

こうした人たちの中には、一人暮らしに挑戦する人もいます。ごはん作りや掃除が苦手な人でも、ヘルパーさんに助けてもらいながら頑張っているのです。

しかし、「一人の時間を楽しめない」、「一人では寂しさや不安が強すぎて暮らせない」、という人もいます。そんな人には、「共同生活」はいかがでしょうか。同じ障害を持つ人どうしが、一つの家で一緒に暮らすというものです。ごはん作りやお小遣いの管理をするスタッフ、そこで暮らすメンバーの状態によっては、安全管理のため夜間泊まってくれるスタッフがいます。「グループホーム」とか「ケアホーム」と呼ばれるものです。

「グループホーム」「ケアホーム」での生活について少し説明をすると、それを聞いた人の多くは、「知らん人と仲良くできるかなあ」とか、「何でも自分でできないとおこられるかなあ」といった心配をされます。もちろん、時にはけんかもあります。しかし、けんかし

ないことよりも、けんかしても仲直りして乗り越えられることがもっと大切であり、スタッフもそれを応援してくれます。また、自分でできることは自分でしないといけません、できないことを助けてもらえるのが「グループホーム」「ケアホーム」です。

ただ、現状として、スタッフが毎日24時間いる「ホーム」は少なく、平日の日中は仕事や何らかの活動に行けないと、「ホーム」での生活は難しいかもしれません。また、「共同生活をしたい」と思ったときに、すぐに行ける「ホーム」があるとも限りません。日ごろから、市町村の福祉課や相談支援事業所に、「ホーム」での生活を希望していることを常に相談しておき、「ホーム」ができるという話があったときに情報をもらえるようにしておくのとよいでしょう。また、「ホーム」へ入居することだけでなく、日中の過ごし方を含め、そこでの生活を日々、どのように過ごしていきたいか、一緒に考えていきましょう。

相談室ではこのような相談をお聞きし、「グループホーム」「ケアホーム」の見学についても調整させていただきます。ぜひ一度、実際の「ホーム」を見てみてはいかがでしょうか。



涙が必要なときもある。心の枯渇を防ぐために。だから、我慢しなくていいと思うよ。(見学)